



# でらボラNAGOYA通信

2018年 8月号

## 震災から7年、現在の東北（陸前高田市）

2018年7月17日～7月20日

震災から7年以上経ちますが、最近ではほとんど東海地方のニュースでは取り上げられることがなくなった東北。今回は、私達のチームが2011年以来ずっとボランティア活動をしてきた陸前高田市に行ってきました。陸前高田市は名古屋市が友好都市協定を結んでいます。

現在の陸前高田市ですが、多くの方は高台へ引っ越し、仮設住宅は、次々と閉鎖されており、市営、県営の復興支援住宅がいくつも建設されました。

今回はその中の一つの市営団地に行ってきました。そこで自治体のイベントであるラジオ体操に参加した後に、お茶会とお昼ご飯を一緒に食べるイベントを行いました。

平日の午前中ということで参加者は15人程、場所は、団地一階の共有スペースです。

訪れた市営団地は、スーパーも近く人気の住宅でした。しかし、場所によってはせっかく作った団地でも空き部屋が多い住宅もあるそうです。住んでいる人の話では、若い人は入居してもすぐに出ていってしまう。と言います。理由を聞いてみると、

働けるようになり所得が増えてくると若い方は出ていってしまうことが多いようです。公営住宅は、所得によって家賃が変わる仕組みです。ですから、所得が安定してきた若者は他の住居に引っ越ししてしまい結果、高齢化がすすんでしまっているようです。

中には5回もの引っ越しを経験された方もいて、自分の居場所というものがいまだに見つからない方もいるようです。



私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

7月の活動支援金は **84,763**円です。たくさんのご協力をありがとうございました。



団地から写真を撮っていると「屋上の方がよく見えるよ。」と、屋上に入れることを教えていただきました。住宅の海岸側は簡単に言えば、工事中です。右がその写真です。大規模なかさ上げ工事をするということでかなりの工期がかかるようです。陸前高田市の人口は2割ほど減っており、工事後の用途にも不安が残っています。



高齢者も多く平日の日中でも集会場を使っていろいろなイベントがあるそうです。しかし、カラオケについては、最近、中止となったそうです。理由を聞いてみると、カラオケの機材は、無料で市から借りられるが、それを運び取り付けることが困難なことが原因だそうです。

その程度の事、とってしまいましたが、よくよく考えると。カラオケは遊びです、回りの人は復興のために頑張っているんです。自分たちの遊びのために地域のためと頑張っている人たちの足を引っ張ることになります。普通では当たり前のことでも、東北では、わがままと感じていしまうようです。

今回は、本稱寺様での法要、法話の機会に合わせてお邪魔しました。法要の前に呈茶、法話の後に炊き出し。という活動です。いつもは、10人程の参加者ですが、今回は、地元の方の協力もあり50人ほど参加者がありました。地域の方からの提案で、定期的なこういった会を開いてもらえないか。と要望がありました。



東北は、現在も復興のためと人々はいろいろなことを我慢しているような状態です。そこでお祭りのようなイベントがあると、地域の笑顔が広がります。今の東北へのボランティアに必要とされるものは、体力も技術も必要ないです。みなさんの笑顔をつないでみませんか。



でらボラ NAGOYA 会員 募集中！

【入会資格】不要です

【会費】不要です(募金活動にご協力お願いします)

【申込方法】来月12日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけください

【問い合わせ】mail:derabora758@gmail.com

